



平成27年7月30日

国土交通省中部地方整備局 清水港湾事務所

『清水港で「みなと」を学習しよう!』

～静岡市立清水三保第二小学校が清水港を見学～

1. 概要：

国土交通省中部地方整備局清水港湾事務所では、地域のご希望を踏まえて担当している清水港や御前崎港など港湾整備の現場や港の様子をご案内しています。

今回、静岡市立清水三保第二小学校の5年生児童19名と引率の先生方が社会学習の一環として清水港を訪れました。

普段は見るのが難しい、冷凍マグロ倉庫や、国際コンテナターミナルの荷役、整備中の防波堤等の工事現場や作業船を船上から見学し、港の果たす役割や重要性について学習しました。

2. 見学場所・見学の様子

別紙

3. 日時・場所

平成27年7月24日(金) 9:00～10:30

八洲水産冷凍マグロ倉庫、清水港内(船上)

4. 配布先

中部地方整備局記者クラブ、専門紙記者会、静岡県政記者クラブ、静岡市政記者室、
港湾空港タイムス、港湾新聞、日本海事新聞、海事プレス

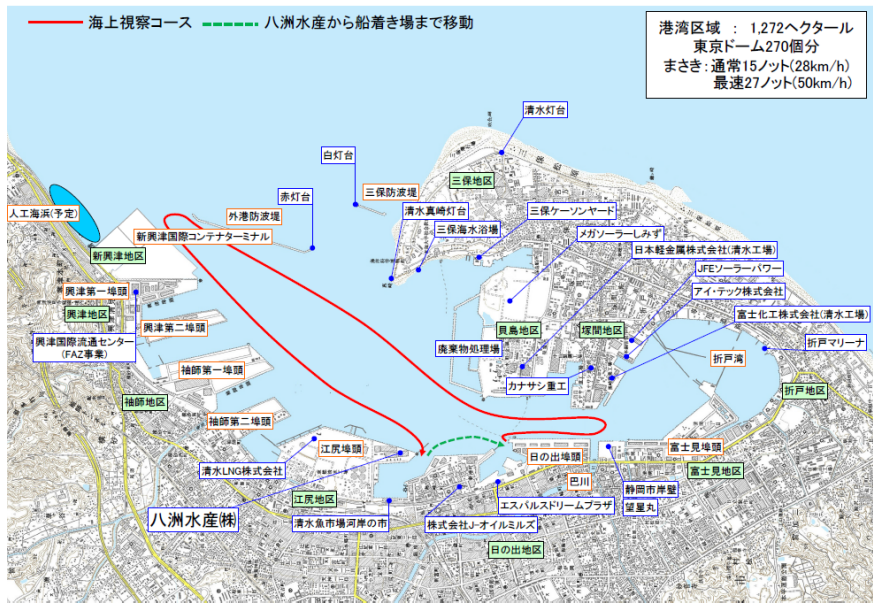
5. 問合せ先

国土交通省 中部地方整備局 清水港湾事務所 企画調整課 堀池

Tel 054-352-4148 Fax 054-353-3072

別紙

○見学場所



○見学の様子



《船による港内見学の様子》



《冷凍マグロ倉庫見学の様子》

【参加者の感想】

- 私は、清水港が昔から物のやりとりや漁で盛んだったことがわかりました。これからも、清水港が漁業や観光、物のやりとりなどが盛んで、賑やかな港になってほしいです。
- 私は、この社会科見学をして、いろいろなことを学んだ。まず、清水港についてです。私が知らなかったのは、清水港は静岡県だけでなく、周りの県も利用していることです。次に、フェルケール博物館では、日本の昔のことを知れた。例えば、昔の船の帆は、布一枚で外国の船は2～3枚くらいの帆を使うなどです。もう少し詳しく学びたい。
- 冷凍マグロの所では、よくそんなに寒いのに平気で入って仕事ができるなと思いました。フェルケール博物館では、昔の人は、自分で工夫をしてえらいなと思いました。
- 最初に船に乗りました。船はスピードが速くてとっても揺れました。風が気持ちよかったです。天気がいいと富士山が見られるそうです。海の周りには岸壁があり、岸壁に大きな波がきても、ビクともしませんでした。この様に港を守り、住みやすい港づくりをしているのかな、と思いました。